

t を正の実数とし、4点 $O(0, 0, 0)$, $A(4\sqrt{2}, 0, 0)$, $B(0, 1, 1)$, $P(\sqrt{2}, 3t, -3t)$ を頂点とする四面体を考える。また、辺 AP を $2:1$ に内分する点を Q とする。

- (1) \vec{OB} が \vec{OA} , \vec{OP} の両方に垂直であることを示せ。
- (2) \vec{AP} と \vec{OQ} が垂直となる t の値 t_0 を求めよ。
- (3) (2) の t_0 に対して、 $t = t_0$ とする。四面体 $OABP$ の体積を求めよ。

(24 室蘭工大 5)

【答】

- (1) 略
- (2) $t_0 = 1$
- (3) $4\sqrt{2}$

【解答】

$$O(0, 0, 0), A(4\sqrt{2}, 0, 0), B(0, 1, 1), P(\sqrt{2}, 3t, -3t)$$

- (1) 内積 $\vec{OB} \cdot \vec{OA}$, $\vec{OB} \cdot \vec{OP}$ を計算すると

$$\vec{OB} \cdot \vec{OA} = 0 \times 4\sqrt{2} + 1 \times 0 + 1 \times 0 = 0,$$

$$\vec{OB} \cdot \vec{OP} = 0 \times \sqrt{2} + 1 \times 3t + 1 \times (-3t) = 0$$

より、 \vec{OB} は \vec{OA} , \vec{OP} の両方に垂直である。

……(証明終わり)

- (2) $\vec{AP} = \vec{OP} - \vec{OA} = (-3\sqrt{2}, 3t, -3t)$

である。また、 Q は辺 AP を $2:1$ に内分する点であるから

$$\vec{OQ} = \frac{\vec{OA} + 2\vec{OP}}{3} = (2\sqrt{2}, 2t, -2t)$$

であり、 \vec{AP} と \vec{OQ} が垂直となる t の値 t_0 は

$$\vec{AP} \cdot \vec{OQ} = 0$$

$$(-3\sqrt{2}) \times 2\sqrt{2} + 3t_0 \times 2t_0 + (-3t_0) \times (-2t_0) = 0$$

$$12(t_0^2 - 1) = 0$$

$t_0 > 0$ より

$$t_0 = 1$$

……(答)

である。

- (3) $\vec{OB} \perp \vec{OA}$ かつ $\vec{OB} \perp \vec{OP}$ より、 \vec{OB} は $\triangle OAP$ に垂直であり、四面体 $OABP$ の体積 V は

$$V = \frac{1}{3} \triangle OAP \times |\vec{OB}|$$

である。さらに、 $\vec{AP} \perp \vec{OQ}$ より $\triangle OAP$ の面積 S は

$$S = \frac{1}{2} |\vec{AP}| |\vec{OQ}|$$

である。 $t = 1$ より

$$\vec{AP} = (-3\sqrt{2}, 3, -3), \quad \vec{OQ} = (2\sqrt{2}, 2, -2)$$

であり

$$|\vec{AP}| = \sqrt{18 + 9 + 9} = 6, \quad |\vec{OQ}| = \sqrt{8 + 4 + 4} = 4$$

である。また、 $|\vec{OB}| = \sqrt{2}$ であるから

$$V = \frac{1}{3} \left(\frac{1}{2} \times 6 \times 4 \right) \times \sqrt{2} = 4\sqrt{2}$$

……(答)

である。

